



よしだしげお きゅうせい 吉田重雄さん急逝

けんじんかいきんじょかいいん かいかいちよう ブラジル県人会賛助会員の会会長



よしだしげお きょうねん さい もりおかざい 吉田重雄さん(行年83歳、盛岡在・ブラジル県人会賛助会員の会会長)は、10月13日朝急逝されました。吉田さんは県農政部職員当時、ブラジルや特にパラグアイへの移住者を多く送り出し、移住者の追跡調査のため1966年南米を初訪問。県庁を退職後は奥さんの英子さんと共に、パラグアイやブラジル移住者を5回にわたり激励訪問され皆さんに親しまれていた。

写真 2009年答礼団歓迎会での故吉田さん

南米からの留学・研修生を自宅に招待し激励や相談にもついていた。また、南米からの訪問者が吉田宅を訪ねると、歓迎やお世話を頂いた。私共夫婦も訪岩の都度、宿泊や歓迎など親身にお世話頂きました事から、度々お宅に電話を入れ、亡くなる3週間前にも元気な声を聞いていたので、突然の訃報に驚いてご家族との思い出を巡らせております。故吉田さんへ心からの感謝とご冥福をご祈念を申し上げます。合掌 記 千田曠暁

けんじんかいきんじょかいいんせいど よしだしげお ねん どうせいど 県人会賛助会員制度は吉田さんにも相談、2004年から同制度を発足。累計70名で、内15名が逝去や都合で退会されております。★ 下ブロック故吉田さんをよく知る、ご親戚で旧江刺市や奥州市の市長もされた相原正明氏の弔辞を掲載させていただきます。

ちよう じ 弔 辞

よしだしげお とつぜん ふほう ほうぜん よしだしげお おも で 吉田重雄さんの突然の訃報に茫然としながら、吉田さんとの思い出が走馬灯のように駆け巡りました。

吉田さんは、何よりも懐の大きな人間的魅力に溢れた人生の師匠でした。初めてお目にかかったのは、私が20代の頃に岩手県の農政企画課に勤務時でした。当時吉田さんは盛岡農林事務所の農地担当の係長。会議や懇親会での印象は、茫洋として理屈や理論は言わず、舵で切るごとくズバリと印象深い話をされ、温かい人情味が常に感じられるお人柄で、部下への思いやり、解決への導き出す胆力、実行力の一端を示すものであります。

その後、吉田さんは本庁に転勤になり、私の直属の上司となりました。仕事は基本的に部下を信頼してまかせ、対外的な人脈や職場の融和を大切にす風でした。その一環として懇親会で酔いがまわった頃には十八番の「岸壁の母」は天下逸品でした。また盛岡八幡宮の祭りなどに合わせ、親戚や友人、職場の人々を自宅に招待。広い人脈で副知事や部長、議員などや南米パラグアイ日系人の子弟など多彩な顔ぶれでした。その中に私の伴侶となった娘(吉田さんの姪)もおり、ご縁を頂いたところであります。

しょうわ ねんよしだしげお さい ととき じんせい さいせつ とな のこ ぶん 昭和55年吉田さんが50歳の時、人生75歳説を唱え残り3分の1を自由の有意義に過ごしたいと県庁を退職。退職後は持ち前の人の話を聞き温かい人柄を生かして、盛岡地方裁判所の調停員となり20年間勤められ、その功績により平成13年には叙勲の栄に浴されました。

また、吉田さんは何と言っても「南米移住者送出しの中心人物」で、30代に農政課の担当職員として、多くの県民を送出す仕事に奔走されました。その方々とのお付き合いは終生のもとなり、退職後は奥さんと共に、南米パラグアイのピラポ移住地など実に5度にわたって訪問。現地の方々の幸せな生活ぶりを確認して回ったものでした。また移住者子弟の日本への留学・研修などに尽力され、滞在中親のよう



に面倒を見られました。私が江刺市長・奥州市市長として選挙に臨み、仕事を推進する上でもお支え頂きました。吉田さんは西郷隆盛にも比すべき「天を敬い人を愛する」お人柄に間近に接する事が出来たのは終生の宝と思っております。

改めて、これまでのご指導・お悉しみに感謝申し上げますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げます。ご家族への天上からの限らないご加護を切にお願い申し上げます。(相原正明氏原稿から一部抜粋)

(写真上 1994年度留研生を吉田宅で歓待)

さいひょうしやう けんじん めい 100歳表彰に県人3名



ざい そうりやう じ かんかんない さいひょうしやう 在サンパウロ総領事館管内では、100歳表彰者31人の内閣総理大臣の祝状と記念品の伝達式が、11月1日総領事公邸で行われ大べ一秋総領事より伝達された。

ひょうしやうしやう にんちゆう いわて けんじん ちは 表彰者31人中、岩手県人は「千葉イヨノ」さん(胆沢郡胆沢小山出身、昭和8年渡伯)、写真表彰され「及川サト」さん(胆沢郡胆沢若柳出身、昭和8年渡伯)、「高橋啓一」さん(稗貫郡大田村山口出身、昭和8年渡伯)の3名が表彰された。(出身地は移住当時のままです)

100歳おめでとうございます

かな(ルビ) 今回の会報から漢字に「ふりがな(ルビ)」を付ける事にしました。本会も世代の遷り変りを見ると共に「日本語啓蒙」の為に、平仮名付きだと大抵読めると云う2世3世4世の世代が大勢いる事が先のお知らせで分かりました。

その方々たちの為に「漢字に振り仮名」を付けて、少しでも「日本語」に嗜んで頂きたいと思っております。ただ紙面の都合上漢字全部に「仮名」を付けられないかも知れませんが、漢字になった1世には読み辛いかも知れませんが、皆さんの子弟のためにもご理解頂きたいと思っております。

2011年を振り返って

「激動の2011」平穏な年とはまならないのが世の中でしょうか。年初からアラブ諸国の民主化運動、ヨーロッパ諸国の金融不安、アジア諸国、南北米州で様々な困難な出来事があり、その中でも3月11日突如として発生した「東日本大震災」、各地で大きな揺れと地震の様々な被害、沿岸部では「巨大津波」が襲い大惨事が発生した。

続いて、「福島原子力発電所」では、爆発事故により「放射能」漏れで最悪に、地域住民の人々は半径30キロにわたり強制避難。今でも地域を離れ未だ自宅に帰れず、生活の術を失い避難生活を送っており、原発処理に相当の年数がかかると伝えております。

岩手県でも沿岸地方の市町村は甚大な被害と死者、行方不明者多数の犠牲者を出しました。難を逃れ避難された方々も住み慣れた家や職場を失い辛抱生活がまだまだ続いていると思うと、遠く離れたブラジルからはお手伝い出来ない事が悔やまれます。被災地の皆さんには「心を強く」長い道程かも知れませんが、復興へ一歩と進んで頂きたいと願っております。

大震災津波被害に対し、当県人会員はもとより在日日系

人の方々も大変心配され、多くの方々から心温まる支援の義援金が

あり、心から感謝申し上げます。(義援金の報告は別稿掲載させていただきます)

2012年3月11日に県人会連合会主催、被災地岩手、宮城、福島の3県人会も加わり大震災津波から1年の犠牲者追悼法要が行われる事になりました。

県人会では今年も各種事業や行事を例年通り開催、年初には衆議員黄川田議員を迎えての歓迎会、総会、新年会、東日本大震災津波犠牲者追悼法要、義援金受付、年3回の交流誕生会、わんこそば大会、東北ブロック運動会、日本まつり参加、餅搗き、忘年会、太鼓教室、料理教室、カラオケ、内外県人会との交流、イグアス移住地に植50周年参加、温泉旅行、図書貸出、会報発行、雷神太鼓教室など、様々な事業を行いました。これ、一重に会員皆様のご支援とご理解ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

来る2012年も皆様のご理解を頂きたいと存じます。最後に会員ご家族始め賛助会員の方々、岩手県関係者、海外県人会皆様には良きクリスマスと、新たな希望を持たれ新年をお迎えられますようご祈念申し上げます。

2011年12月 ブラジル岩手県人会 会長 千田 曠暁



(上 山田町の鉄路 下 流された堤防と頑張ろうと元氣な…写、藤村光夫)

会との交流、イグアス移住地に植50周年参加、温泉旅行、図書貸出、会報発行、雷神太鼓教室など、様々な事業を行いました。これ、一重に会員皆様のご支援とご理解ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

来る2012年も皆様のご理解を頂きたいと存じます。最後に会員ご家族始め賛助会員の方々、岩手県関係者、海外県人会皆様には良きクリスマスと、新たな希望を持たれ新年をお迎えられますようご祈念申し上げます。

2011年12月 ブラジル岩手県人会 会長 千田 曠暁



(写真 コロニアで有名になった「わんこそば大会」)

忘年会・48° 会員交流誕生会

12月11日(日)、正午より2011年度忘年会と第48回誕生会が行われ、約70名が参加、遠くはゴヤス州カルダスノーバ(約800km)から田鎖さんの出席もあった。



皆さんが揃うまで畑さんの提案で、数人に「東日本大震災津波」で被災地や被災者へ「元気や幸せ」を願い、お便りのビデオの収録も行った。多田副会長の司会で開会、千田会長は挨拶で年間を振り返って、様々な交流事業がなされ、その中で「3月11日の大震災」支援活動では、心



カラオケなどあり楽しい年末の1日を過ごす事が出来た。2012年も皆さん方には幸いですように！

配して下さった多くの皆さんからの義援金の支援を頂き、岩手県へ直接義援金総額325万円を届ける事が出来た事を感謝し、達増県知事からの礼状や領収書を次回会報に掲載する報告も行った。菅原英一長老の乾杯の音頭で昼食。屋敷は皆さん持参の豪華な料理に、昨日搗いた餅で県人会からお雑煮が振るまわれた。豪華な賞品が当たる、ビンゴ(数字当)があり、当たる度に歓声が上がり、年配の方もまるで童心に帰ったようであった。続いて「第48回会員交流誕生会」では、9月から12月生まれの方々の日をケーキで祝った。

カラオケなどあり楽しい年末の1日を過ごす事が出来た。2012年も皆さん方には幸いですように！

2011年12月 ブラジル岩手県人会 会長 千田 曠暁



- 9月5日 パラグアイ関係者へイグアス入植 50 周年新聞記事を配信
 8 「海外日系人協会」から「東日本大震災 - 海外日系社会はどう動いたか」について依頼のあった原稿を県連宛送信
 16 横澤昭徳氏（盛岡出身）デルタ航空国際営業部長が業務のため来伯。県人会を訪問懇談
 17 役員会開催 議題は、イグアス移住地 50 周年報告、料理講習会、県人会のプログラムなど
 18 「料理教室」《26種の寿司作り方》講師 平野マリアさん
 21 監査役会 阿部正司、及川秀義にて行う。
 26 自閉症教育指導者「三枝たか子」さん、再来伯の歓迎会に 千田会長夫妻出席
 28 県国際課伊東義学氏より、故清水七太郎画伯没 45 年記念展覧会について、息女の清水宮路さんに伝える
 29 県連代表者会に会長出席
 10月1日 手島ジョージさんの厄年を有志で祝う
 5 県国際課へ菊地さん訪岩について発信
 6 県庁より留学生研修生応募募集について受信
 ☆ 猪俣アルゼンチン県人会長より県人訪問者についてメール受信
 8 児玉マルリさんの誕生会を有志で開催
 10 達増拓也岩手県知事より知事選再選の挨拶状受信
 ☆ 県人会報 175 号PDFを皆さん多数に発信
 11 会報 175 号を 430 部発送
 12 菅原英一、洋子夫妻「金婚式」に会長夫妻出席
 ☆ 盛岡の吉田重雄氏夫人英子さんから、吉田氏急逝の知らせあり
 13 吉田氏遺族へお悔み状発信、パラグアイ県人会、ベレン県人会へ訃報を通知す
 14 県人会前に新築なったレストラン「エスパツ和」開店祝いに会長出席
 15 役員会 議題 義援金残額、行事の検討、餅搗き、忘年会など
 17 国際課より菊地さんの知事表敬について 返信

- 18 賛助会員（日本）へ会費納入領収書 40 通発送
 19 会費未納者へホレット 89 通発送 ☆ 三枝さん来訪今夜帰国
 20 県連代表者会、県連創立 45 周年記念祝賀会に会長出席
 21 菊地さん達増拓也知事と会見、義援金残25万円を贈呈と国際課より受信
 23 新潟県人会創立 55 周年に会長夫妻、多田マウロ副会長出席
 24 ny岩崎会長より催しについて受信
 26 伊藤国際課主査より、海外会連携支援事業補助金申請の要請あり
 11月1日 県庁へ助成金申請書発送
 2 ブラジルのお盆
 3 故吉田重雄氏夫人英子さんに電話、
 ★ 菊地さん来館、義援金領収書と知事の礼状受取る。
 8 家屋税免除のドキュメント作成
 9 役員会行事案内等 186 通作成し発送。☆ 県へ海外日系人誌寄稿文を送信。
 10 県へイグアス移住地に土地なし農民不法侵入の記事を送信。
 11 イグアス県人会の伊藤会長、武田さんへ電話とメール送信。
 15 ブラジル共和制記念日で休日
 17 県連代表者会に会長出席
 18 高橋万右工門氏行年 82 歳 10 月 9 日死亡と奥さんから通知、
 19 役員会開催、議題は、義援金の報告、餅搗き、総会新年会、
 21 吉田恭子さんより近況、22 ポクシング教室、
 23 県より定期刊行物送付あり。岩船さんからメール受信。返信
 24 県庁の伊藤担当者に書類の送付について発信、
 25 事務局旅行のため藤村氏事務代理、サムエル君（元研修生）は 12 月に訪岩と連絡あり、
 28 吉田博氏（重雄氏子息）より相沢正明さん（江刺、奥州）の弔辞送信あり
 30 海外日系人協会より「季刊 69 号 10 月号」送付あり

かいひのうにゆうしゃめい けいしりやく
会費納入者名 (敬称略)

- 7月 Samuel Cardoso de Oliveira 支払日 16-07-2011
 10月 三枝たか子 (2010年、2011年)、三原俊樹 (賛助会員)、
 上滝重男 (賛、新)、飯塚のり子 (賛)、
 加藤浩輝、岩淵克明、巖岩毅、高橋栄子、佐藤キミ (賛)、
 清水ルイザ、和賀希耕、
 11月 田中キヨ、広川和子 (賛)、田口精基、唐沢みつこイザウラ、
 渡辺剛一、中村健三 (賛)、黒沢フジ、及川まゆみ、岡田しげみ
 テレーザ、佐々木久六、高橋凡児、久保ジョージ、高橋清 (賛)、
 二瓶隆一 (賛)、高橋義明、菊地義穂、田口晃基、矢島緑、
 長野長勇、佐藤武雄、中村佐藤洋子エレナ、

きふ きそうしゃめい けいしりやく
寄付 寄贈者名 (敬称略)

- 10月 お茶菓子 来訪者多数、
 11月 岩上まさこ ビンゴ景品、内海博 R\$100.00、平野稔
 (北上出身) ビデオデッキ 2 台、門脇和夫 R\$20.00、

けんじんかいじ むしよほうもんしやすう
県人会事務所訪問者数 9月 476名、

10月 457名、11月 425名、

11ヶ月の訪問者数 累計 11ヶ月 5,326名 月平均 484名

1階サロン利用者は含まれておりません 昨年1年間は 6095 名

としよきそうしゃめい
図書寄贈者名 (敬称略)

- 9月 無名氏 6名 23冊、坂本恵美子 19冊、清水美恵 1冊、
 10月 神田大民 24冊、新橋忠右工門 4冊、サンパウロ人文研
 47冊、渡辺はつと 2冊、中野光雄 3冊、康本静子 2冊、
 11月 無名氏 3名 4冊、高井節子 6冊、故山本勝造文庫より
 約 500冊、無名 3名 19冊、



としよつりようしゃ
ふるさと図書室利用者

9月	621冊、172名
10月	748冊、177名
11月	699冊、161名

1月から11カ月間の図書利用
 8009冊 読者数 I 901名
 昨年1年間の利用者及び冊数は 2326名、10284冊、

ふほうし
訃報のお知らせ



たかはし まんぶ うえもんし ぎやうねん さい はなまきしゆ
 ★ 高橋万右工門氏 (行年 82 歳、花巻市湯
 ぐちゆっしん しやうわ ねん とはく
 口出身、昭和 14 年渡伯) は、10 月 9 日亡くなつ
 たとおさんから知らせがありました。尚 49 日法要

は 11 月 26 日 (土) 仏心寺で行われました。高
 橋さんのご冥福を心より祈念申し上げます。合掌
 高橋さんは晩年太鼓作りに精出し、県人会の太鼓も皮の張替をし
 て頂いた。下段の写真、太鼓は県人会キロン
 おんせんりよこう おり つく
 泊温泉旅行の折、高橋さんが作った太鼓を寄贈
 された。今でもお客さんに愛用されている。



たつそたくやいわてけんちじさいせんに きめ
達増拓也岩手県知事に再選 二期目へ



いわて 「岩手はひとつ、復興にひとつ」です。
きょう 今日 13 日からまた4年間、よろしくお願いい
たします。 9 月 11 日に行われた岩手県知
事選挙において当選。

ふつこう な と きぼうきょう じつげん
復興を成し遂げ、「希望郷いわて」を実現しましょう！

いわてけん 岩手県は、かつてない大災害に全力で立ち向かいます。この大事
な時期に、再度、県民の皆様の負託をいただき、その責任の重さ
に身の引き締まる思いです。

3 月 11 日の東日本大震災津波で、犠牲になった方々の、ふるさとへの思いをしっかりと受け止め、被災され、多くを失った方々が、それぞれの幸福を追求できるようにすることこそ、それが可能なふるさと岩手を作り上げることを、あらためて誓います。

復興は難事業ですが、県内各分野の方々の力を結集し、県民的な議論を経て策定した「岩手県東日本大震災津波復興計画」を確実に実行し、「いのちを守り、海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造」に向け全力を注ぎます。

大震災津波以来示されている岩手県民の底力、市町村と県と国の連携、全国そして世界に広がる支援の輪が、復興に向けた大きな支えとなっております。みんなで力を合わせ、復興を成し遂げ、すべての県民が希望を持つことができる「希望郷いわて」を実現しましょう。 岩手県知事 達増 拓也（いわてグラフ 10 月号より）

ひがしにほんだいいんさいつなみ ひがし しえん
「東日本大震災津波被害支援に
たい たつそけんちじ れいじよ
対する達増県知事よりの礼状



きん けい しゅうれい こう ごせいえい こと
謹啓 秋冷の候、ますます御清栄の事と
よろこ もう あ お喜び申し上げます。

さて、このたびの東日本大震災津波被害に際しまして、御丁寧なる御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

お受けいたしました義援金につきまして、被災地の市町村を通じて、被災された

かたがた とど
た方々にお届けいたしております。

ここに、このたびの御厚情に対しまして略儀ながら書中をもって御礼申し上げますとともに、皆様の一層のご発展をお祈り致します。

けいぐ へいせい ねん がつ にち
敬具 平成 23 年 10 月 21 日

ブラジル岩手県人会 様 岩手県知事 達増 拓也

（達増県知事に義援金を手渡す菊地義治名誉会長）

写真提供 岩手県政策地域部 NPO・文化国際課

ひがし にほんだいいんさいつなみ し
東日本大震災津波支
えん ぎえんきん ほうこく
援「義援金」のご報告

3 月 11 日、突如として起こった空前の大災害「東日本大震災津波」の「岩手県に対する支援義援金」には当県人はもとより他県人の方々、及び団体から心温まるご支援とお気持ち頂きました事に心から感謝と御礼を申し上げます。

皆様のお心を母県岩手県に2回にわたり、直接お届け出来たことをご報告方々、義援金のご報告を致します。

第1回目 5月9日 300万円（藤村氏持参）、第2回目 10月21日 25万円（菊地氏持参）をお届けしました。（写真受領書 2 枚 上段）

因みに岩手県人会に寄せられた「義援金」の総額は R\$68,524.41 で、325 万円分が R\$68,403.81、残額は R\$120.80 です。

国の震災復興予算がやっと通過、被災地はこれからは復旧復興に向かい少しずつ軌道に乗ると思われる。今後被災地に対し支援が必要だと思います。ご支援者があれば当県人会



で義援金を受付けております。

けん こくさいか こんだん
県 NPO 国際課で懇談
する菊地さん（右から）
たくさり さんじよかいふくかい
田鎖さん、賛助会副会
長吉田さん、畠山智禎
国際課総括課長



Sao paulo for Japan が
東日本大震災チャリティコンサート

岩手県人会 千田 曠暁 様

先日東日本大震災チャリティーコンサートを無事終えることができた。



ました。これもまた貴団体の後援によるものだと、心より感謝申し上げます。

3 月からお忙しい中、いろいろご迷惑

をかけたと思いますが今回はわたくしたちの活動にご理解とご協力をしてくださいます、本当にありがとうございます。

この遠いブラジルでも日本を助けたいと、願う多くの人がいるということが被災地の方の励みになればいいという共通の思いで今までやってきました。今回の収益が日本に届けられ、被災地や被災された方の助けになるように最後までしっかりやりぬきたいと思っております。

すぐに収益計算をしまして、また後日報告書のご連絡を差し上げたいと存じます。 Sao paulo for Japan 一同

（注）グループは、カンピナス大学に日本から留学しているグループで、震災直後から色々相談があった。コンサートは、11 月 13 日 文協講堂で開催された。写真 伊東信比古さん提供

ひさびさの「餅搗き大会」

12月10日(土)

イグアペの眞人、高橋義明さん(和賀郡江釣子出身)から、餅米30キロ頂き、さらに60キロ求めて計90キロお正月用にと餅を搗いた。出来上がった餅は約130キロ、前売りもあり当日完売。



てだすけを受け、がいらいしゃ、たいけん、たいへんよろこにほんぶんか、わかひと、でんしやうでき、日本文化を若い人に伝承出来たことを喜んでいる。

お疲れ
さまで
した!



きんようび、こめあ、どう、せいねん、ふじんぶ、としわか、がくせい、おおぜい
金曜日の米洗い、土曜日は青年、婦人部、年若い学生らとお勢

けんれんめぐぼうねん 県連ふるさと巡り忘年ツア

11月24日(木)県連主催「ふるさと巡り忘年ツアー」に参加するため、午後8時リベルダーデ広場に参加者200余名が集まった。5台の観光バスに乗り込み午後8時半、目的地「ゴヤス州カルダスノーバ」の温泉施設「太陽ホテル」向け出発。一路 Anhanguera 街道の



Limeira, Minas 州 Uberaba, Araguari を経 (総勢 200 余名の記念写真 伊東信比古さん提供) て Goias 州 Cardas Nova 市へ、翌 25 日朝 8 時過ぎ着。約 800 キロを 12 時間要した。



ごぜんちゆう、しなかくしよ、けんがく、いんしやう
午前中は市内名所を県学、印象は新しい日本庭園、鳥類公園などで 15 年ほど前に訪れた時とは大違い。観光施設、街並み、アパート群と増えまた発展していた。

お昼に「太陽ホテル」着。以前と同じであったが、改装され部屋も綺麗になっていた。現地在住の田鎖満氏(北上出身)も昼食時に参加、食事立派でした。



こ、ちだふうふ、たけだ、いとう、しんせき、ともだち
午後は千田夫婦、武田さん、伊東さん、親戚や友達など田鎖氏の自宅を見せて貰い、氏が会員の温泉クラブに案内された。広大な敷地の施設はプール、波プール、トボガン2、温水滑り台3、サウナなどが立ち並び、サンパウロはもとより、ミナスや首都ブラジリアからの客で週末は一杯になる



という。ちな、けいざい、おんすい
因みに町の経済は温水を利用した施設、ホテル、水着店が多く観光の町との事。3時間ほど過ごし、帰路、会員である町中にあるホテルの温泉施設を見学した。

26日(土)、有名なリオケンチ温泉郡へは希望者が案内され、私共は以前訪

れたため、釣りの好きな武田さんを誘い釣り堀に案内した。池は小じんまりした緑が整備されきれいだった。早速釣りに挑戦、ピンタード、パク、タンバキとチラピア等がいる大きい

池を選ぶ。釣りは...と言う田鎖さんもリール竿を借りピンタードをはじめに釣った。サンパウロ組はチラピア釣りの竿で挑戦、食付くが魚が大きいため糸が切れる。リールを借り挑戦。田鎖さん用のピンタード1匹を残しほかは放した。



ちゆうしやく、あめ、きゆうよう、よる、だい
昼食後は雨がふりだし休養。夜は大講堂で木原(和歌山)県連代表の挨拶で忘年会が行われ、コロナアの歌手平田ジョーのショーがあった。27日「日」最終日は帰路に付く日で早朝起床。バスは12時間後、出発点のリベルダーデ広場に

着いた。けんじん、さんかしゃ、さい、おばら、おいかわひでよし、ふ、さい、しんせき
県人の参加者は、90歳の小原アヤさん、及川秀義夫妻に親戚2名、



たけだ、はるお、
武田春雄さん、
ちだふうふ、おばた
千田夫婦、小畑
とも子さん、県人の奥さんで中原マリアさんなど10名であった。

みな たよ
皆さんのご便りから

けんれん めぐ
「県連ふるさと巡り」一行
けんじんかい こうりゅう
アルゼンチン県人会員と交流



いわてけんじん ブラジルけんじんかい
ブラジル岩手県人・アルゼンチン岩手県人会員と交流

写真提供 田鎖氏 左端 小原アヤさん(伯)、一人おいて田鎖満氏(伯)、猪俣康夫アルゼンチン県人会長、及川君雄氏(伯)、右端が石亀喜久子ア前会長、と多分地元県人でしょうか・・・
写真にいませんが蛸井さんも(北上)参加。

千田会長様 ブラジル県人会会報と、「故郷めぐり」ご一行のお知らせを有難うございました。

こちらの日系団体連合会より連絡を受けておりましたので、10月8日の日本人会サロンでの夕食会には、渡辺幹事と共に出席いたします。4名の岩手県人が来られるとありますので、色々な話もできます事が楽しみです。皆様によりしくお伝えください。

「ブラジル県人会会報175号」を拝読いたしました。たくさんのニュースが写真と共に実によく編集されており、いつもながら感心しております。インターネットで送って頂きますと、こちらの県人にも転送してすぐ拝読できますので大変有難いことです。

千田会長様には、相変わらずお忙しく御活躍の御様子を嬉しく拝見いたしました。只今、こちらは花祭の最中で、もし参加されておいでなら、見て頂きたかったものです。

私は、この会場の飾りつけの総監督をしておりますが、開会式から1週間も過ぎましたので取り掛かっておりました仕事に戻り、土曜日に帰ってきます。《 www.fiestadelaflor.org.ar 》

尚花祭のホームページがありますので、よかつたらご覧ください。只今の会長は2世の友人で50回までは、なんとしても頑張ろうというところです。

06-10-2011 アルゼンチン県人会長 猪又康夫

けんじんかい
ニューヨーク県人会ピクニック
こかげ こうりゅうかい
リンゴの木陰で交流会

千田会長様 ご無沙汰致して居ります。お元気でしょうか。県人会ニュースありがとうございます。

昨日は、当会のりんご狩りピクニックがありました。雨予報が出ていましたので、参加者も少なくなりましたが、当日は一転し好天に恵まれ、初秋の自然を楽しんできました。

2011年10月3日 岩崎雄亮 拝 NY岩手県人会

尚、同県人会では、11月初旬東北ブロック「ポーリング」大会にも参加して交流を深めております。



りゅうけんしゅうせい こうりゅう
留研修生と交流

よしだ きょうこ さま もりおか きんじょかい
吉田 恭子 様より(盛岡、賛助会員の会副会長)

千田様 昨年相撲大会(ピラポ)に参加した方々に世話になりながら、ピラポからの研修員と山田から陸前高田まで案内してもらい、松本さんのお宅に泊めていただいたり、奥中山の親御さんたちの生活した場所をあるいたりとお出歩く機会が多くなりました。

19日は、相撲連盟の納会に留学生ともども3人招待を受けました。相撲連盟とすれば、異国で暖かく迎え入れてもらった恩はとてとても簡単には返しきれないということのようです。23日は龍泉洞まで連れて行ってくれることになっています。

というわけで私も毎日あわただしく過ごしております。相撲団の山澤さんより佐比内金山太鼓のDVDを預かりました。もう少し早ければ、菊地さんをお願いできたのですが、他のものと送る機会があればと思案中です。ちょっと前まではぼかぼか陽気でしたのに、急に寒くなったのであつという間に岩手山は真っ白、小雪が舞うようになりました。長い長い厳しい冬の始まりです。 21-11-2011

理事をしていた際、Paraguayからの海外技術研修員として来県されておりましたので、なつかしく拝見いたしました。彼とは、盛岡で時々、酒を飲んでおります。

こちらは、既に岩手山に初冠雪がありました。そちらは、いよいよ夏を迎えることになると思いますが、健康にご留意のうえ、ますます活躍されることをお祈り申し上げます。

ちだかいちょうさま
千田会長様

10月7日 和美 宏幸(盛岡在、賛助会員)

ご無沙汰しております。このたびは、興味深い記事の詰まった会報をありがとうございました。

イグアス移住地入植50周年式典の記事中、「Carlos Gonzales」さんのことが載っておりましたが、小生が岩手県国際交流協会で常務

EDITORIAL DE FINAL DE ANO

O ano de 2011 foi marcado por vários acontecimentos que mudaram a história do mundo. Movimentos pró-democracia nos países árabes que ocasionaram a queda de vários ditadores, a crise na zona do Euro, mas para nós Nikkeys, sem sombra de dúvida o fato mais marcante foi o Tsunami que assolou a região Tohoku, causando enorme devastação



jamais vista na região de Iwate. Nossa campanha de arrecadação, que inclui o evento Wanko Soba, conseguiu arrecadar R\$ 68.403,81.

Este dinheiro foi entregue em mãos ao governador, garantindo assim a utilização deste recurso em Iwate. O envio do dinheiro ocorreu em duas etapas, a primeira foi através do Sr. Mitsuo Fujimura em maio e a segunda através do Sr. Yoshiharu Kikuchi em outubro. O governador de Iwate Takuya Tasso, reconhecendo a ajuda e o empenho do Iwate Kenjinkai



do Brasil, nos enviou carta de agradecimento em nome de toda população de Iwate.

No plano das atividades, conseguimos realizar todos os eventos programados para este ano, ressaltando a realização do 7º Undokai sob a nossa coordenação.

Com o sentimento de missão cumprida, a Diretoria agradece a inestimável colaboração dos associados, sem a qual seria impossível a realização das atividades planejadas,

desejando a todos Boas Festas, Feliz Natal e Próspero 2012.



MOTI TSUKI – BONENKAI 2011

48ª CONFRATERNIZAÇÃO DE ASSOCIADOS E ANIVERSARIANTES



Depois de vários anos, no sábado 10 de Dezembro, realizamos Moti Tsuki onde batemos 90 kg de motigome. Fizemos aproximadamente 240 pacotes de 500 g que foram todos vendidos no mesmo dia.

Uma parte do Moti foi servida nas porções de ozooni, oferecidas aos associados que compareceram ao Bonenkai no domingo. Neste dia também foi realizada a 48ª Festa de Confraternização de Associados, com a comemoração dos aniversariantes nascidos de setembro à dezembro.

ANUIDADES RECEBIDAS

(Julho) Samuel Cardoso de Oliveira

(Outubro) Toshiki Mihara, Shigeo Koutaki, Noriko Iizuka, Hiroki Kato, Katsuaki Iwabuchi, Takeshi Horoiwa, Eiko Takahashi, Kimi Sato, Luiza Shimizu, Kiko Waga

(Novembro) Kiyoko Tanaka, Kazuko Hirokawa, Seiki Taguchi, Izaura Mitsuko Karazawa, Koichi Watanabe, Kenzo Nakamura, Fuji Kurosawa, Mayumi Oikawa, Tereza Shigemi Okada, Kyuroku Sasaki, Bonji Takahashi, Jorge Kubo, Kiyoshi Takahashi, Ryuichi Nihei, Yoshiaki Takahashi, Yoshio Kikuchi, Kouki Taguchi, Midori Yajima, Choyu Nagano, Takeo Sato, Helena Yoko Sato Nakamura

SOCIOS COLABODORES DO JAPÃO Takako Saegusa

NOTAS DE FALECIMENTO

• Manuemon Takahashi, faleceu no dia 09/10 aos 82 anos em São Paulo Capital. Takahashi-san era especialista em fabricar Taiko. Um dos Taiko fabricado por ele, está exposto no Quilombo Onsen em Iacanga. Era natural de Hanamaki, Iwate-Ken

• Shigeo Yoshida, faleceu no dia 13/10 aos 83 anos em Morioka. Yoshida-san trabalhou por muitos anos no Kentyo e foi o responsável direto pela fundação da colônia de Iguazu e Pirapo, ambas no Paraguai. Sempre que podia ajudava os Kenshuseis e Ryugakuseis. Era o presidente dos Associação dos Colaboradores do Japão.

ブラジル岩手県人会ニユース176号 2011年12月発行
TEL/FAX (11) 3207-2383 www.iwate.org.br e-mail iwate@iwate.org.br
Rua Thomaz Gonzaga 95-M Liberdade São Paulo Brasil CEP 01506-020

ブラジル岩手県人会
Associação Cultural e Assistencial Iwate Kenjinkai do Brasil



お知らせ 岩手県人会定期総会・新年会

2012年1月22日(日)

1次召集9時30分 2次召集10時
総会后、新年会を催します。食事は持
寄りをお願いします。他は会で用意します。

PROXIMO EVENTO

53° ASSEMBLÉIA GERAL ORDINÁRIA

1-Chamada 9,30hs 22/01/2012

2-Chamada 10.00hs

SHINNENKAI DE 2012 e MOTIYORI



2012年が皆様方に

幸多き年でありますように

FELIZ NATAL

PRÓSPERO ANO NOVO de 2012